

豊川ごみ減量かわら版

10月は食品ロス削減月間です

●食品ロスとは

「まだ食べられるのに捨てられている食品」のことです。日本では年間600万トンの食品ロスが発生しています。これを国民一人あたりに換算すると、毎日お茶碗1杯分のご飯（約130g）を捨てていることになります。（農林水産省及び環境省平成30年度推計）

●食品ロス削減月間とは

令和元年10月に食品ロス削減を目指す「食品ロスの削減の推進に関する法律」（食品ロス削減推進法）が施行されました。この法律は、政府や自治体、企業の責務のほか消費者の役割を定め、国民運動として食品ロス削減に取り組むよう求めています。また食品ロスに関する理解と関心を深めるため、10月の1カ月間を「食品ロス削減月間」と定めています。

◆豊川市の取組「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」

市では食品ロス削減のため「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」の取組を推進しています。3つの「ゼロ」の取組みについて、できることから始めてみましょう。

ゼロその1 毎月10日、20日、30日は冷蔵庫の中身をチェックしましょう
冷蔵庫の残った食材を使って中をすっきりさせましょう

ゼロその2 食べ残し・直接廃棄・過剰除去のゼロを実施しましょう
調理の方法を工夫して、食材をムダにしないようにしましょう

ゼロその3 買いすぎ・作りすぎ・注文しすぎのゼロを心掛けましょう
必要な分、食べられる量だけを買って、食べ切るようにしましょう



食品ロス、「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」の詳細について（豊川市HP）

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/kurashi/gomirecycle/genryounadotorikumi/seisojigyokasyokuhin.html>

ごみの減量で経費
節減にご協力を！